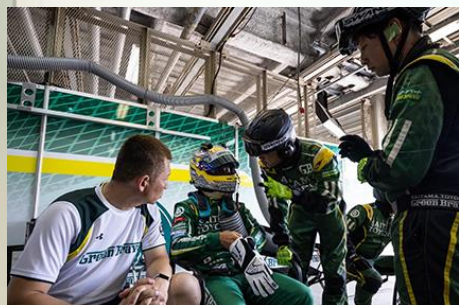


ENEOS スーパー耐久シリーズ2023 Supported by BRIDGESTONE  
第4戦 スーパー耐久レース in オートポリス

## 予選 2位 / 決勝 2位



### スーパー耐久 第4戦 オートポリス5時間耐久、2位！

3連勝で迎えた第4戦 オートポリス。  
今大会はST-1、ST-4クラスがお休みです。

サクセスウェイトは60Kg。  
高低差があるコースレイアウトはタイヤに厳しく  
さらに、例年以上の暑さになることが想定されました

●7/29(土) 予選  
前日からの雨が残っていたため、朝の段階では  
WET宣言が出るものの、午後の予選開始時には  
路面が乾きドライで挑みます。

Aドライバー山崎選手は3位。  
Bドライバー吉田選手は2位。  
合算タイムで2位。  
決勝はクラス2番手、フロントローからのスタートです。  
当方はDドライバーとして出走。  
Dドライバーではトップタイムで予選を終えました。

●7/31(日) 決勝  
朝から快晴、気温も上昇、とにかく暑い中での決勝。  
目指すは4連勝です。

13:00、5時間耐久レースがスタート。  
スタートドライバーは吉田選手。  
11周にFCY、12周に解除。  
ポジションを維持し、45周まで引っ張って走行。  
45周で、山崎選手に交代。  
翌週の46周目にFCYになりましたがすぐに解除。  
トップの#885に迫る勢いで周回を重ねていきます。  
しかしながら追い抜くまでには至らず、83周目で  
服部選手に交代。服部選手が20周目を迎えた102周  
4人目としてマシンへ。前日の練習で中古タイヤのラップが  
速いことがわかったため、最後のステントは  
タイヤ無交換の作戦を選択。この最終ドライバーを担当  
タイヤマネジメントしつつチェッカーを目指します。  
クラストップの#885とは30秒差、後続の#34とは  
1LAPのギャップ。ポジションを維持してチェッカーへと  
車を運ぶことが使命です。  
後半、タイヤははかなりきつくなっていましたが  
最後はギャップを27秒まで縮め、無事、2位でチェッカーを  
受けました。  
4連勝には届きませんでしたがチャンピオンシップの上で  
はポイントを取ることが最も重要、チームとして  
しっかり目的を果たすことができました。  
沢山の応援、ありがとうございました。

次戦は9/2-3、もてぎ大会です。  
重い車には過酷なコースですがチームワークで  
優勝を目指し貢献できるように準備します。

引き続き、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。